



随想 (130)

一昨年、機会を得て十日町の郷土博物館を見学した。ここには同市の地場産業である織物を中心に、郷土の歴史や地理、民俗資料などを構造的に研究整備、展示してある。今更ながら

「織物の町十日町」の認識を深くした。また、最近一億の巨費を投じ、地場産業振興センターも建設している

新津でも市当局に郷土博物館建設の企画があると聞いているが、その実現の早からんことを期待したい。

「鉄道の町」、「石油の町」という新津市のイメージは広く膾炙されているが、鉄道関係では、機構改革により、重要な機関や施設が逐次失われつつある。また、新幹線開業による打撃も確かに大きい。依然として信越

磐越、羽越線の要衝地であり、今日まで「鉄道のまち」として繁栄を続けてきた歴史の現実は何ぞ否定できない。だからこそ、激しく変動する時代に対応する今後の市の発展策も、鉄道を中心として論議されるのは当然である。」「鉄道と石油の町」の資料を中心とした郷土博物館の建設を待望する論拠も、ここにある。

市民の責務ではないだろうか。このほか、市の郷土研究の方針により、由緒ある文化財が数多く紹介されている。これらの資料を網羅し、一堂に納め、公開する。また、その所在を紹介し、名勝地秋葉公園を始めとする名所、旧蹟、あるいは北方博物館などを含めた広域観光案内地図等によってアピールしてはどうだろうか。

新津市郷土博物館を待望

中沢町大脇 幸栄

十日町の郷土博物館では同市の小学生の一団が、先生に引率されて熱心に資料の説明を聞いていた。これは同市の社会科教育のカリキュラムに組み込んであるものらしく、幼いときから市民の生涯教育に取り組む卓見に胸中秘かに敬意を表した次第である。およそ郷土の歴史を知らずして郷土愛は生まれぬ。かくして古を思い、将来を策定することは、市民展の根源ではないだろうか。このバトンをも本町二の竹田信雄さんにリレーします。

健康で「ミス新津」を募集

新津観光協会では、今年も「ミス新津」を募集します。健康で明るい娘さん——こんな人がいません。ぜひ応募してみてください。

- ① 満十八歳以上二十五歳未満の未婚の女性
- ② 新津市に在住の人および市内事業所に勤務している人
- ③ モデルを職業としている人は除きます
- ④ 応募に必要なものは除きます
- ⑤ 応募申込書(市役所商工観光課に用意してあります)

賞金と海外旅行を
用意してあります
「ミス新津」の審査は、面接審査で行います。またミス一名、準ミス二名の発表は、四月十七日(日)の「いっしょなつり」の会場で行われる予定です。



表彰を受ける
「ミス新津」には賞金十進五万円と副賞、準ミスには賞金十万円と副賞がそれぞれ贈られます。(副賞は海外旅行の予定)。また応募された方全員に、もれなく参加賞として一万円をさしあげます。ご応募についてのご質問は、応募先へおたずねください。

お買物、ご用命は市内で

春の特選団体のご案内

●皇居東御苑参拝と二階バス 東京早まわりの旅

・3月20日(日)帰

主要通行ルート・皇居坂下門・靖国通り・新宿通り・日比谷・銀座通り・京橋ほか 所要時間2時間15分

●人員 50名さま 大人 19,800円 小人 12,000円

●経費

◎沖縄の旅

常夏の島 七色の海に広がるロマンを求めて!

3月12日(日) 高の川 23時56分出発

3月15日(水) あさひ193号 18時28分帰

羽田—那覇間 往復 飛行機 経費 96,000円

*見どころ・旧海軍隊、ひめゆりの塔、玉泉洞、守礼の門、東南植物園、海洋博記念公園、プラザハウス。

お申し込みは 新津駅旅行センター 2-5470
日本鉄道旅行社 2-0951